

てをつなごう

発行：高知県ボランティア・NPOセンター
Tel 088-850-9100 Fax 088-844-9443
E-mail:kvnc@pippikochi.or.jp

2017 Spring
Vol.114

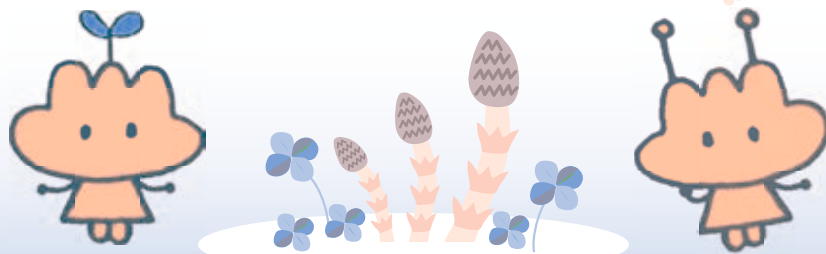


特集

〇〇からはじまるボランティア
「高知SGG善意通訳クラブ」
田中 伊緒さん



ボランティア・NPOに注目!
子ども広場 (子ども食堂)



高知SGG善意通訳クラブ

田中 伊緒さん

高知SGG (Systematized Goodwill Guide)善意通訳クラブは、外国から高知に来る観光客の皆様を外国語で通訳ガイドをしたり、翻訳活動などを行っている団体です。昨年度、高知港には20隻ほどの外国客船が寄港し、外国語で地元のガイド・通訳・翻訳を行うニーズが高まっています。今回は、この活動に関わることで自分の人生の幅を広げることができたと語る、高知SGG善意通訳クラブ 事務局長 田中伊緒さんにインタビューを行いました。

SGG善意通訳クラブとの出会い

私がこの団体に入ったきっかけは、当時、高知SGG善意通訳クラブ(以下、SGG)の事務局をされていた方のお話をラジオで偶然聴いたことでした。以前から、外国人に英語でガイドをしている団体があることは知っており、気にはなっていたものの、「今の自分の英語のレベルでは…」と躊躇していました。しかし、ラジオでのお話を聞くうちに、苦手だった英語の勉強を大学卒業後も続けていたので、何かの役に立てたいと思い、勉強会に参加したことが始まりです。

田中さんにとってこの活動とは？

活動に参加したことで、私自身の人生の幅が広がりました。SGGでは、先輩方が作成したマニュアルに沿って高知城のガイドをします。ある時、外国の方に山内一豊の妻の生涯をお話ししたら、感動して涙ぐまれました。英語で私の伝えたかった事が相手に伝わったと思い、とてもうれしくなりました。また、困っている外国人の方を助けたときには、何気ないことだったのですが、すごく感謝して下さったことが心に残っています。

この活動を通じて地域の文化財をよく知るきっかけにもなりました。私たちの団体では、県内の高校生を対象に外国人向けの高知城ガイド講座を実施しています。この講座では、高校生を8名ほどのグループに分け、私たちがお城を案内するとき

のガイドの仕方を学んでもらい、最終的には外国人の方を実際にガイドしてもらいます。この講座に参加して下さった高校生の皆さんからは、「久しぶりにお城に上った」「高知城のことが好きになった」との声があり、この講座を通して高校生の皆さんにとっても地元のことをよく知るきっかけになったのではないかと感じました。

観光地同行ガイドや翻訳の際に気を付けていることは？

最近では、日本を訪れる外国人も増え、観光スポットなどでは注意事項の掲示も増えてきました。しかし、日本にも独自の習慣があるようにそれぞれの国にも、独自の習慣があります。



高校生英語ガイド講座の一コマ



龍馬マラソンに参加されている外国の方をサポートしています



紙すき体験に奮闘中



河原でBBQ♪

その方は自国の習慣の通りにやっているだけでも日本では、マナー違反になることもあります。ガイドをする際には、習慣の違いやお伝えしておいた方がいいことはその都度伝えるようにし、来てくださった外国の方にも、地元の皆さんにもいい思い出となるようお手伝いができればと思っています。

また、私たちの団体は英語だけではなく、中国語や韓国語でのガイドや翻訳活動も行っています。それぞれの言語がグループに分かれて活動していますが、翻訳の際には、外国の方が理解しやすい内容にするため、メンバーで何度も推敲し、読んだ人に伝わりやすい表現にするよう工夫しています。

高知の魅力って何でしょうか？

昨年は多くの大型客船が高知に寄港し、高知をガイドしてほしいとの問合せも多かったように思います。外国の方は自然とふれあうことや体験型の活動が好きだということを感じます。その点で、仁淀川の景色や川下り、よさこい踊りは人気が高まっており、高知の魅力だと思います。より多くの外国の方に高知の魅力を知ってもらうには、高知の自然やその中で経験できる活動をアピールすること、県民一人ひとりが外国からのお客様をもてなす気持ちが大事になってくると思います。

今後の活動は？

外国の方だけでなく、県外の方を案内するときにも同じことが言えますが、案内する側が地元のことを知ることが大事です。そのための一歩として、高校生の皆さんへのお城ガイド講座に力を入れていけたらと考えています。来年度、高知に寄港する大型客船の数は、昨年以上になることが見込まれています。外国人のお客様はまだしばらく増えると思われます。そうした時に、高校生のみなさんが英語で地元の文化を説明できることは自信と誇りにつながると思います。また、毎週日曜日に高知城観光案内所で高知城ガイドをしています。外国人観光客が年々増えてきておりますので、できるだけ土曜日もガイド活動ができるように努めて参りたいと思います。



ニュージャージーの高校生と、追手門と天守閣をバックに

お問い合わせ

高知SGG善意通訳クラブ 事務局

<http://kochisgg.web.fc2.com>

メールアドレス：kochisgg@hotmail.co.jp



[これまで取材を担当してくれた学生からのメッセージ]

私は、2回の取材を通じて、地域で生きるということ、生きがいづくりとは何なのかなど多くのことを学びました。この貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、これからの大学生活に活かしていこうと思います。

●高知県立大学 社会福祉学部 寺田 知恵

子どもたちに毎日温かい朝食を！ [子ども広場(子ども食堂)]

子ども食堂とは、経済的な事情などにより、家庭で十分な食事がとれなくなった子どもに、無料もしくは安価な食事や居場所を提供する活動とされますが、実際には多様なタイプがあるのが実態です。有限会社川上食品は、お弁当・仕出し・学校給食・社員食堂サービスなどを行っている食品産業の会社です。この食品会社自らが、子ども食堂に取り組んでいることを知り、子ども食堂の運営者である川上千恵子さんを、今回取材させていただきました。川上さんは、子ども食堂を「子ども広場」という名称で実施しています。

●子ども広場を始めたきっかけは？



川上千恵子さん

以前から子どもの食に関心があり、高知市内の学校への給食サービスの業務に参加しました。給食サービスに携わる中で、朝ご飯を食べていない子どもたちがたくさんいることに気付き、子どもたちに朝食を提供しようと考えようになったのがきっかけで、2016年(平成28年)の8月16日から開始しました。

●子ども広場の取り組みの特徴は？

子ども広場は、食品産業を営む企業としての強みを生かした仕組みで運営しています。例えば弁当等を受注した際は、多少余分に作ることであります。最終的に注文が生産数より少なければ商品ロスになりますが、子ども広場の仕組みは、その部分をロスにしないことと結びつけた仕組みです。

このことで、子ども広場向けに特別に作ったり、残り物の食材を提供するのではなく、配食している商品と同じものが提供できます。また、メニューは、子供の成長にとって必要な栄養成分をバランスよく提供することを心掛け、煮物など今のお母さん方があまり作らないものを加えています。



DATA

子ども広場 川上食品

〒780-0087 高知県高知市南久保15-38
TEL 088-884-7001

- 時間/毎朝6:30~9:30、日祝7:00~10:30
- 料金/子ども無料、
同伴の大人200円、大人だけ300円



人がいない場合に子どもを孤独にさせない押しボタンを準備。目につきやすいテーブルの上に置いてあります。



●こだわりは？

こだわりは、地産地消・安心安全な食事を提供したいので、高知県産の新鮮な野菜を使用し、米も契約した県産のコシヒカリで、艶やかで甘みのあるごはんを保温ジャーに準備し、みそ汁と共に温かい状態で何時でも美味しく食べることが出来る仕組みです。子どもたちが、気持ち良く食事をするために温かいご飯とみそ汁は重要な要素だと考えています。会社には、2階に包装資材を保管するスペースがあったので、会社と隣接して目が行き届きやすい場所と考え転用しました。具体的には、出来るだけ初期投資を抑えながら衛生管理のための消毒、内装工事の施工、カーテンやエアコン、テーブルを設置して畳を敷き、ご飯用炊飯ジャー、みそ汁用のジャー等を準備しました。食事は、偏食にならないようバランスに配慮したセットで提供しています。

一人で来た子どもがいる場合には、必ず一人ぼっちにせず寄り添い話しかけ心をほぐすよう心掛けています。

●どんな仕組みなのですか？

会社が年中無休で営業しているので、並行して年中無休で朝食を提供するよう取り組んでいます。従って、正月も休まず開催しました。朝食は毎日必要なものなので、子ども広場も毎日開けるよう強味を生かして無理なくできる仕組みで運営しています。

●活動を通じての気付き

孤食の子どもたちは、経済的な理由だけではなく、親御さ

んが夜勤のある仕事など不規則な勤務体系のため、朝食の時間には不在になってしまうことも原因のようです。

ご飯も食べず朝起きれない子どもの生活環境は、社会人になっても影響を及ぼすと考えており、子ども食堂を通じて少しでも生活を変える役割が担えればと考えています。

●これから開設したいという方へのメッセージ

子ども食堂の取り組みは、本当に必要な子どものための食堂になり得るのか、立ち上げ後の展開がより重要と思います。

子ども目線に合わせた仕組みをどう作るかだと思います。

また、私共のような食品関連企業が取り組むと仕組みとして構築しやすいのではないかと考えています。



高知県精神保健福祉ボランティア連絡協議会

設立総会のご案内

高知県内の精神保健福祉に関わる団体・個人が定期的な交流研修、情報交換することにより、お互いの活動への弾みにするために連絡協議会を設立することになりました。

精神保健福祉に係わる行政、病院や施設、当事者、家族会、ボランティア等とネットワークを図ることにより、精神障害の方々の生活の充実や福祉向上につながることを目的としています。

各地域・施設で活動しているボランティア(団体及び個人)のみなさん及び精神保健福祉に関心のある方、設立総会にご参加いただきますようご案内いたします。

日時 平成29年 4月11日(火) 午後2時～4時

会場 こうち男女共同参画センター ソーレ
5階 視聴覚室(高知市旭町3丁目115番地)

内容 設立総会議事(会則、役員、活動計画等)
☆総会終了後、ティーパーティを予定しています。

問合せ先 [呼びかけ人]

福井 和子(ほっとはあと代表) 090-1572-8028

牧野利恵子(Doネットワーク会員) 090-6283-5574



新しく「ピッピネット」へ登録された団体紹介

特定非営利活動法人

にんにん

団体設立日：2016年9月

●活動を始めた、団体ができたきっかけ

私は、シングルマザーで5人の子どもを育てながら就職活動を始めました。しかし、面接では「子どもの預け先は？病気の時は？度々抜けられては困る」という言葉と共に、ことごとく面接で落とされました。皆さんは、幼い子どもさんの急な病気で勤務を休む事で、肩身の狭い思いを経験したことはありませんか。非正規雇用の場合は、仕事を休めばたちまち給料に響きます。現在の施設型病児保育は、働く女性のニーズを十分満たしておらず、同じ思いを持つ仲間たちが集い、子育てしやすい環境に改善したいと考え、この度私たちは団体を立ち上げました。



●会員について

利用者登録は10名ほど。対象乳幼児数12名(2月中旬での登録者数の拡大をめざしています)。

●活動内容

訪問型病児病後見保育です。施設型は【病後見保育】となっていますが、にんにんは【病児・病後見保育】となっています。自宅での保育・代理受診・保育園等

への送迎・休園・休校時の保育・入院保育など、お子様に関わること、資金調達のためクラウドファンディングにも挑戦しています。

●これからの活動

今年の夏ごろまでに、スタッフ養成のための病児保育研修を行う予定です。

一言メッセージ

子育てに不安を感じたりしたときは、遠慮なく声をかけてください。耳鼻科や歯科への通院対応も行います。子育てにいろんな選択肢があるという事を知り、ひとりで考え込まないでください。

お問い合わせ先

高知市介良乙2815 セジュール竹内A201

TEL / FAX 088-819-2463

http://ninnin.or.jp info@ninnin.or.jp



NPO法人 土佐山アカデミーが 第14回 オーライ! ニッポン大賞を受賞

NPO法人 土佐山アカデミーが、第14回オーライ!ニッポン大賞を受賞しました。この賞は、日本各地で都市と農村漁村の交流を盛んにする活動に取り組んでいる団体・個人に贈られるもので、地域の課題を資源ととらえ、多くの講座や体験ツアーなどを通して、循環型のシンプルで丁寧な生き方を知るきっかけを提供している点が評価されました。

今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

今後の抱負

この受賞をきっかけに、都会と田舎のオーライ!をさらに増やせるよう、これからも楽しみながら、「学びの場づくり」に精進して参りたいと思います。

NPO法人 土佐山アカデミー
www.tosayamaacademy.org

ボランティアコーディネーター研修

ボランティアコーディネーターの役割や実務からボランティア活動プログラムづくりまでを学ぶ研修です。

参加費
500円

日時 2017年 5月15日(月) 13:00 ~ 16:30

会場 高知県立ふくし交流プラザ 2階 高齢者能力開発室

●対象者/福祉施設や医療機関、社会教育施設、NPO、社会福祉協議会などでボランティアの受け入れを担当しているスタッフ

●詳しくは

お問い合わせ 高知県ボランティア・NPOセンター TEL 088-850-9100
FAX 088-844-9443 メール kvnc@pippikochi.or.jp



プレゼントクイズ Present Quiz

答え「〇〇〇〇」

完成した言葉と、①郵便番号・住所 ②氏名 ③年齢
④職業 ⑤「てをつなごう」の感想や、取材してほしいことなどを書いて、

〒780-8567 高知市朝倉戊375-1
高知県ボランティア・NPOセンター

「プレゼントクイズ」係 まで

正解者の中から抽選で3名の方へ、ピッピちゃんオリジナルタンブラーとピッピちゃんタオルハンカチをプレゼントします。

締切：6月14日(金)

※e-mailでの応募も受付けています!

kvnc@pippikochi.or.jp 「てをつなごうクイズ」とタイトルに入れてください。

1		2 C	3
	B	4	
5	6		
7		A	

●点線の中の文字をABCの順に組み合わせて、今月のキーワードを完成させてください。

- たて1 悪い人を捕まえる人、どろぼう⇔〇〇〇〇
- たて2 ズレ、食い違い
- たて3 旧暦で1月のことを何という?
- たて6 〇習、〇問、化〇 共通する言葉
- よこ1 間違った字を消す 筆記用具
- よこ4 「札」の音読み
- よこ5 吉野ヶ里遺跡のある県
- よこ7 イスとセットになっている家具



ボランティア・NPOミニ講座

第12回 クラウドファンディング

ボランティアやNPOの活動は、収益をうまないことが多く、活動資金の確保は多くの団体で課題となっています。今回はこの資金を集める仕組みとして注目されている、クラウドファンディングをご紹介します。

クラウドファンディングとは、群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、インターネットを介して資金を求める人と不特定多数の人をつなげ、少額の資金を広く集める仕組みのことです。

資金を求める側は、自分たちのプロジェクトをクラウドファンディングの仕組みを運営しているサイトに公開し、サイトを見てそのプロジェクトに共感した人は、サイトを通じて寄付を行うことができます。

クラウドファンディングは、このような資金調達にも役に立ちますが、団体の活動や開発した商品のプロモーション、事業アイデアのリリース(共感を得られる内容なのか)、共感を得られた人とのつながりづくり(仲間づくり)といった資金調達以外の目的で利用している人もいます。

関心のある方は、是非チャレンジしてみてください。

寄附・寄贈のお礼

●古切手(使用済み)・テレホンカード(使用済み)の寄贈のお礼 (2017年1月24日までの受付分)

- 清田 延子 様
- 濱口 禮子 様
- 生永 実 様
- 谷岡 左恵 様
- 村井 政之 様
- 渡辺 泰方 様
- 住友生命 様
- 岡田会計事務所 様
- 第一生命労働組合 様
- NPO法人 あまやどり高知 様
- NPO法人 高知県生涯学習 支援センター 様
- 発達障害者就労支援センター こうちみらいず 様
- 四国機器株式会社 高知サービスセンター 様
- 株式会社 サンケア土佐 様
- 高知黒潮若者サポートステーション 様
- 高知市社会福祉協議会 様
- 香南市社会福祉協議会 様
- 南国市社会福祉協議会 様
- 中土佐町社会福祉協議会 様
- 佐川町社会福祉協議会 様

※順不同

◆古切手・書き損じはがきを 集めています!



「てをつなごう」を定期的に読みませんか?

ご希望の方は住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送・FAXまたはE-mailで下記までお申込みください。送料は当方で負担します。

発行/高知県ボランティア・NPOセンター 〒780-8567 高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ4F (高知県社会福祉協議会内)
TEL: 088-850-9100 FAX: 088-844-9443 E-mail: kvnc@pippikochi.or.jp